

平成29年度 職員等提案制度職員投票 投票結果

職員等提案制度については、平成29年度から優れた業務改善を行った取組に対して表彰しています。被表彰者の選考にあたっては職員投票の形式で皆さんに選考してもらい、その結果、次の2つの取組が選ばれました。

職員投票の投票結果

○投票期間：平成29年7月3日～平成29年7月31日

○表彰ノミネート事例数：46事例

○投票数：1,011票

都市計画課
職員

獲得票数 77票

改善事例

仮想環境にあるファイル等をセキュアストレージを使用せずに画像データとして印刷する方法

改善内容

セキュアストレージを使用せずに仮想環境にあるファイル等の画像データを印刷する方法を提案し、事務・作業能率の向上に努めた。

危機管理課

獲得票数 70票

改善事例

災害予防対策事業

改善内容

災害時に企業・団体等からの応援が円滑に受けられるよう、新たに5つの企業・団体と緊急時における応援協定を締結したほか、地域貢献型広告に関する協定を締結するなど、市民への防災等の啓発に努めた。

受賞者インタビュー



●都市計画課 職員

インターネットの画像を簡単に印刷する

今はパソコンでインターネットを使うとき、仮想端末を開いてからインターネットにアクセスしている。これは、ネットウィルス対策やセキュリティ事故防止のため、どうしても必要なことなのだが、多くの職員はやっぱり使いづらいと感じたことはあるだろう。例えば、ウェブ画面の情報をちょっと紙に印刷して上司に見せたい、市民の方に見せたいと思っても、その都度セキュアストレージを介して無害化処理をしなければならない。今回の提案は、ちょっとした工夫や見方を変えるだけで、そんな手間を一挙に解消してしまった。

提案しようと思ったきっかけは？

都市計画課は照会や調べものが多くて、WEB上にアップロードされたデータをよく使っていたんです。例えば、調べたものを周りの職員や上司に説明するとき、セキュアストレージで無害化処理をするため宛先を設定したりパスワードを設定したりと、大変だなと感じていました。今回のアイデアは、セキュリティを確保したまま少しでも簡単にできないかと考えたときに思いつきました。周りの職員にも勧めてみたところ好評でしたし、簡単な操作だけで誰にでもできることなので、提案してみました。

あなたにとって「業務改善」とは？

仕事の内容や仕組みなどをしっかりと理解し、身についた知恵を共有することで上司や周りの職員とコミュニケーションをとる良いきっかけとなるもの

●危機管理課

災害が起きたときのため企業・団体と応援協定

大きな災害が起きたとき、被災者にとって、泊るところや生活に必要な物資はもちろんのこと、これからの生活には大きな不安が残る。そんなときのため、企業や団体などから支援や相談が受けられるよう応援協定を結んだ。市内の専門学校やスーパー、行政書士会をはじめ、今や53の団体から支援を受けられるようになっている。市内の電柱に避難場所などの情報を併せて掲載する地域貢献型広告にも取り組んでいる。危機管理課では、今後も災害が起きたとき、越谷市で必要となるものは何か、今の時代にどんな支援が必要かということを考え続け、市民が安心して住み続けられるよう災害対策に取り組んでいる。

協定の締結にあたり努めたことは？

本当に重要なことは、協定を結ぶこと自体ではなくて、実際に災害が起きたときに実効性が確保できるかということ。災害が起きたときには、行政全体で対応しなければならないのは当然ですが、近年の大規模災害の状況をみると、地域の企業・団体間同士での連携・協力が重要になってきているといえます。日ごろから、全職員や企業、団体、市民の方にも防災対策の現状を理解してもらい、どうしたら迅速かつ的確な対応をとることができるか、情報共有・情報交換に努めています。

業務改善のポイントは？

業務の現状をよく理解し、起こりうる問題解決へのシナリオを想定しながら、日頃の業務にあたることです。